# 平成23年度 釧路・根室・十勝地域防災トップセミナー

# 【地域防災力向上に向けた意見交換会】

# 国土交通省 北海道開発局 平成24年1月



# 1. 開催概要



災害に強い地域づくりの取組を推進していくため、地域防災力の強化を図るうえでの課題や改善方策について、自治体の市町長の皆様と意見交換会を実施します。

日 時:平成24年1月23日(月) 13:30~16:30

場 所:釧路合同庁舎5階第1会議室

出席者:釧路市長、釧路町長、厚岸町長、浜中町長、白糠町長、根室市、

広尾町長、豊頃町長、浦幌町長、

小磯 修二 釧路公立大学学長、高橋 清 北見工業大学教授

釧路総合振興局長、十勝総合振興局副局長、根室振興局地域政策部長

国土地理院北海道地方測量部長

北海道開発局長、釧路開発建設部長

带広開発建設部次長





# 2. 自治体意見の概要



## ■避難

#### ◆ 避難路 · 場所

- ▶ 外環状道路を避難路・場所に利用したい。【釧路町】
- ▶ 海岸線に平行した町なので、迅速な避難のために内陸へ 向かう避難路がほしい。【白糠町】
- ▶ これまでの避難場所に課題があり、見直しを進めている。
  - ・高さの問題【白糠町】
  - •冬期の寒さ対策【白糠町】
  - 漁業関係従事者の避難場所と移動が課題【根室市】
  - •避難場所確保を漁港整備と連携して進めたい【豊頃町】
  - 高齢者に取って安心・安全な避難場所と移動手段の確保 が課題【浦幌町】

#### ◆要援護者対策

- ▶ 高齢者等の要援護者への対応が不十分。【釧路町】
- ▶ 要援護者対策として、内陸部にある町内の施設に海岸線にいる方を収容してもらう協定を結んでいる【浜中町】
- ▶ 避難した人の安否確認の方法が必要【広尾町】
- ▶ 要援護者対応は共助で対応が必要。【浦幌町】

#### ◆ その他 (避難のルール等)

- ▶ 住民には自ら力で逃げていただく。そのかわり、各々の 地域のデッドラインを明示する。【白糠町】
- ➤ 震災を受けて、保育所・学校の避難訓練マニュアルをPTA を含めて見直した。【浜中町】
- ▶ 個々人の避難場所等のルールも必要【豊頃町】
- ▶ 沖だしした漁船への食糧等のケアも必要。【浦幌町】

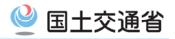
### ■情報

- ➤ コミュニティFMとの連携【釧路市】
- ▶ 防災情報無線の強化
  - 各戸設置【白糠町】
  - 伝達手段の多重化 【浦幌町】

### ■訓練・啓発

- ▶ 今後の地域防災計画を作る話し合いしながら、意識を高めていこうと考えている。【釧路市】
- ▶ 防災意識の高揚を図るため、防災訓練の時期を変更し総合訓練を行った。厚岸町民だけでなく自衛隊、警察、消防等全てを網羅した訓練とした。【厚岸町】
- ▶ 津波が来ても自分の所は来ないという定説があり、それが避難率にも表れている。それを払拭するため、意識改革を早急にやりたい。【白糠町】
- ▶ 語り部になってつないでいく、防災意識を高めていくことが重要ではないかと考えている。【浜中町】
- ▶ 住民の中に慣れや思い込みがあり、住民の意識をどう変えていくかが最大の行政の課題。【広尾町】
- ▶ 避難訓練は図上訓練で自分達で考えてもらい、その結果で実際の避難訓練を行っている。【浦幌町】

# 2. 自治体意見の概要



## ■業務継続

- ▶ 白糠町、弟子屈町と共同して情報の消失を防ぐ取り組みを 進めている。【釧路町】
- ▶ 役場庁舎が、代替機能を「道の駅」に持たせるため、設備 等の整備をしている。【厚岸町】
- ▶ 現在一番低い箇所にある消防庁舎を移さなければならず、 避難タワーを併設した整備を考えている。【白糠町】

# ■防災計画

- ▶ 共助の進め方を、行政が係わりながら地域住民の手で作ることを進めている。【釧路市】
- ≫ 災害対策推進本部を設置し、各課が連携しながら防災・ 減災対策を講じている。【厚岸町】
- ▶ 自然災害は全て防ぐことは不可能なので、どう自分の身を守るか考えてくださいと住民に言っている【白糠町】
- ▶ ハード、ソフト両面で地域の人たちの意見を聴き進めたいと考えている。【浜中町】
- ▶ 今までの防災計画では対応できない、全面的に見直している。【根室市】
- ▶ 防災は後回しになっていた感があり、位置づけについて 認識を新たにしている。【広尾町】
- ▶ 防災組織は1つしかない。行政の課題として取り組みを 進める。【広尾町】
- ▶ ハザードマップではないが、開発局、住民と協議し作成している。間もなく住民に提示できる。【豊頃町】

### ■ インフラ整備

- ▶ 河川管理や樋門の閉鎖対策などが問題。 【釧路町】
- ▶ 「津波防災地域づくり法」に基づくまちづくりが実行可能か不安がある。【釧路市】
- ▶ 「道の駅」が避難所となり国道が渋滞。緊急車両の通行 や住民避難の妨げとなった。対策が必要。【厚岸町】
- ▶ 東北では高速道路、くし状の道路網が役に立った。確実 に避難出来る道路がほしい。【白糠町】
- ▶ 防潮堤、防災センター、等の既往対策により、人命・住宅は守られた。【浜中町】
- ▶ 防潮堤で被害が抑えられたが、東日本大震災規模が来れば持たない。国の責任でハード対策すべき。【根室市】
- ▶ 建物の地震対策も重要。【広尾町】
- ▶ 町が河川に挟まれおり、国道の橋が損傷すると孤立する。 地震・津波に対する対策をしてもらいたい。【広尾町】
- ▶ 東北では復旧時に高速道路が大きな役割を果たした。高 規格道路の整備を実現してほしい。【広尾町】

### ■通行規制

- ▶ 幣舞橋を含め釧路川に架かる橋が通行止めとなり、避難に支障を来した。ルールづくりにつて、関係機関による協議を進めている【釧路市】
- ▶ 通行止めにより集落の孤立化への対策が必要【浦幌町】